



# 森下さち子 ニュース

【2010年10月号】和歌山市鳴神 1145 - 6 Tel 474-6556  
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel 435-1113

## 9月定例市議会閉会

9月9日から始まった定例市議会は10月1日に討  
論採決を経て閉会しました。

今回は補正予算なので、来年4月からの予算を前も  
て先取りする、2月議会の予算審議の後、足りない分を  
補つという内容がほとんどです。ただ、8月に市長選挙  
がありましたので、大橋市長の所信はこの9月議会で明  
らかにされました。したがって一般質問も所信の中身を  
問うものがかなりありました。

### 小学校給食

#### 新たに6校を民間委託

来年4月から自校方式で給食  
を作っている小学校のうち、山  
東・名草・和歌浦・西脇・木本  
・八幡台の6校を新たに民間委  
託するための費用が提案されま  
した。民間委託する内容は調理  
業務と洗浄業務です。

教育委員会は自校方式で給食  
を作っている市内44校のうち  
半分の22校を民間委託すると  
いう計画ですが、どの学校を選

定するかは明らかにしていま  
せん。議会に議案が提案されては  
じめて分かるというトップダウ  
ンのやり方は改め、早急に計画  
を明らかにするよう求めています  
。ところが、今回もまた6  
校だけを来年度分として提案  
し、保護者や関係者への説明会  
は議会終了後だということだ  
す。

教育委員会の姿勢そのものに  
問題があるのではないかといわ  
ざるを得ません。

くったりするほどの猛暑でしたね。  
9月に入ってもしばらくは真夏のよう  
な陽気が続いていました。やっと秋ら  
しい涼しさが訪れたような気がしま  
す。

秋といえば食欲・スポーツ・行楽…  
私は「読書の秋」です。小説から行政  
関係まで片っ端から気になる本を読  
み漁っています。行政関係は仕事上  
必要性を感じて読みますが、やつぱり  
夢中になるのは小説ですね。気がつ  
いたらあたりが明るくなっていたこと  
もしばしばです。みなさんはどんな秋  
を満喫していらっしゃいますか。

## 議台 <森下さちこの一般質問>

報告 9月17日の一般質問に登壇し、「子育て支援」と「支所・連絡所のその後」について取り上げました。

### ◆支所・連絡所のその後

私は、昨年6月議会で「支所・連絡所の窓  
口業務廃止」を撤回し、市民の意見をよく聞  
くように求めてきました。しかし、市は予定  
通り11月1日から北部と南部を除く地域で  
支所・連絡所の窓口業務を廃止し市内5ヶ所  
のサービスセンターへ集約させるという方針  
です。

今回の9月議会では交通弱者への取次ぎ業  
務の内容が明らかになりました。満75歳以上  
の方、身体障害者手帳をお持ちの方、介護  
認定を受けている方は支所・連絡所で申請す  
ればサービスセンターから職員が持参すると  
いう取次ぎ業務をしてもらえます。しかし、  
それ以外の方は住民票や印鑑証明を取るため  
にはサービスセンターへ行かなければなりま  
せん。

この実施を前に10月から10ブロックに  
分けて各単位自治会での説明会が開かれるこ  
とになっています。私は、説明会で出された  
意見は真摯に聞くこと、実施していく上で重  
大なデメリットが発生した場合は見直しも検  
討することを求めました。

### ◆子育て支援の充実を

市長は市長選挙や所信を通じ、今後は子育て支援に力を入れ  
ると言っています。

少子化対策としてだけでなく、貧困が直接子どもたちに及  
ぼしている影響など、子供の置かれている状況に応じた施策が  
必要ではないかと質しました。特に生活保護や就学援助、1人  
親家庭が増加していることから、経済的  
支援は不可欠であり、乳幼児医療（子ども  
の医療）の年齢の拡大、保育料や幼稚園保  
育料の軽減などの施策を充実することの認  
識について聞きました。

就学援助の充実を!



市長は子どもの貧困など確かに大変な状  
況にあるため、経済的支援は必要だと認識している。今後、さ  
らに充実努めると答えました。

学童保育（若竹学級）についても、9月からすべての若竹学  
級の開設時間を6時まで延長することになりました。また、夏  
休み・冬休み・春休みなどの長期休暇中の開設時間は9時から  
となっていますが一部8時30分からに繰り上げることも可能

です。指導員さんに負担増とならないように、  
体制の充実も図りながら進める必要があります。待機児童を  
出さないように施設建設も引き  
続き進めると市長、教育長より答弁がありまし  
た。



# こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



9月県議会が終わりました。私は、今議会では、くらしと経済対策の問題、関西広域連合への参加問題を取り上げました。

08年12月から国、自治体あげて経済対策が取り組まれてきましたが、正規雇用の求人は3人に1人分しかないこと、働く人の平均年収が10年前とくらべて53万円減っていること、最低賃金の引き上げが全国最低の10円だったこと、緊急雇用の創出事業の成果と計画が全国で下から2番目であることなどの問題点を指摘して、景気回復のためにも安定雇用と所得の引き上げが欠かせないことを提起し、緊急雇用予算の拡大や公共事業がより多くの県内業者の仕事となるよう求めました。

関西広域連合は、関西規模で府県の上に新たな広域自治体を作るうというもので、府県事務との重複となること、府県を廃止して関西州づくりをめざすものであることなどから反対しました。関西財界が広域自治体づくりに熱心に取り組んでおり、大阪湾岸を中心に近畿圏内の大規模開発にはずみをかけたいという開発促進のための広域自治体づくりという問題も指摘できます。

県会議員 ふじい健太郎

## よいよいよ和歌山市めざして 署名にご協力を！！

「国保料が高すぎて払えない」「こどもの医療費助成制度の拡充」との切実な声が広がっています。

日本共産党北部地区委員会と市議員団は世論の力で市の制度を充実させたいと署名に取り組んでいます。訪問の際、返信用封筒（無料）と署名用紙をお渡ししていますので、ぜひご協力をお願いします。

## 講演会のお知らせ

「憲法9条を守る和歌山市共同センター」は結成4年を記念し、憲法講演会を開催します。「日本国憲法と私たちのくらし」についてみんなで学び、考えましょう。

講演「民主党政権の新段階と  
構造改革、憲法の行方」

講師 渡辺治氏（一橋大名誉教授）

10月16日（土）

午後1時30分～4時

プラザホープ4F

資料代500円（高校生以下無料）

## 《市議団ブログは毎日更新中！画像も見てね》



9月20日、市議団も「相談員」として参加した「生きるための何でも相談村」（和歌山城砂の丸）

市議の日々の活動や市議団事務局からの発信など情報が満載です。たとえば…

- \* 一歩前進！ ヒブワクチン接種に1290万円の公費助成
  - \* 「学校給食を考える河西の会」が来年4月からの民間委託実施の撤回を求め、市長、教育長、市議会議長へ「要望書」を提出。
  - \* 「新日本婦人の会」和歌山市支部が「子供の医療費無料制度」の拡充を求め市長および市健康福祉局に要請。
- 市議団ホームページとあわせ一度アクセスしてくださいね。

<http://sigidan.exblog.jp/>



8月15日、「日中不再戦のつどい」に参加した森下さちこ（海南市 日中平和の碑の前で）

大学受験に向けて走り出した元哉。夏休み中は夏期講習を受けると自分から言い出して毎日がんばっていました。ところが、夏休み最終盤、ある事件をきっかけに、楽しみにしていた大学のオープンキャンパス行きを諦めざるを得なくなりました。しかし、その出来事が、今までの自分を見つめ直す良い機会になったように、2学期を向かえても引き続き受験生モードを保っています。

ところで、日本は現在、貧困率が相当に高く14%です。しかも政府による再分配後の方が貧困率が上がってしまうのECDC中唯一の国です。その原因は「子育て費用は親が持つ」ことが基本になってきているからで、親が元気でそれなりの収入があることが前提となっているため「防波堤」がないのと同じです。「子どもの貧困」の解決と同時に、「知りたい学びたい、働きたい」という若者を社会が支える土台づくりこそ、早急に求められているのではないのでしょうか。

## おつきく なあれ

森下さんちの  
元哉くん  
成長日記